

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

あお

青は

あい

い

藍より出でて

あい

あお

藍より青し

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

あくじ

悪事

せんり ゆ

千里を行く

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

悪銭
あくせん

み

身につかず

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

尻	しり	頭	あたま
隠さず	かく	隠して	かく

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

あつ

暑さ

さむ

寒さも

ひがん

彼岸まで

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

あつもの こ

羹に懲りて

なます ふ

膾を吹く

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

あまだ

雨垂れ

いし
うが

石を穿つ

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

地 ぢ 雨 あめ

固まる かた 降って ふ

あやま

過ちては

あらた

改むるに

はばか

憚ることなかれ

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえ

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

あり
あなた
蟻の穴から

つつみ
くず

堤も崩れる

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

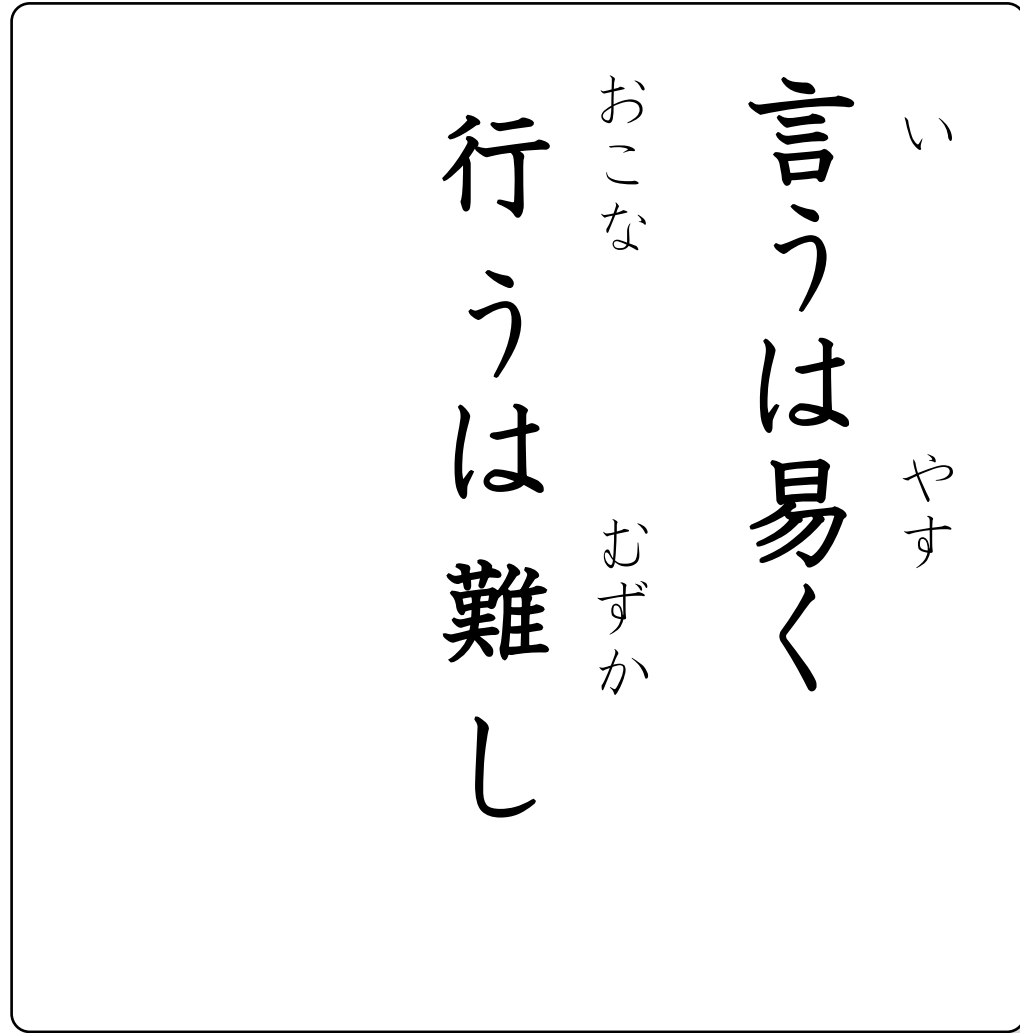
あん
案ずるより

う やす
産むが易し

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた



月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

いし
なが
石が流れて

こ
は
しず

木の葉が沈む

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

いし くちすす
石に漱ぎ

なが まくら
流れに枕す

月 日

回目

- すらすらよめた
- なにもみずにいえた

いし うえ
石の上にも
さんねん
三年